

市民との意見交換会会議録（本宮第2中学校区）

報告日 平成28年2月25日

報告者 伊藤隆一 記録者 渡辺秀雄

1. 日時 平成28年1月27日（水）午後6時30分～午後8時32分
2. 場所 荒井地区公民館
3. 出席議員 橋本善壽 川名順子 伊藤隆一 渡辺秀雄（4名）
4. 出席市民 25名
5. 会議経過

【午後6時30分開会】

◇開会宣言 橋本議員

◇挨拶 伊藤議員

市民との意見交換会の開催趣旨、聴取した意見への対応等の説明を兼ねて挨拶を行った。

（出席議員自己紹介）

【報告】

◇橋本議員

議会だより第37号（平成27年1月発行）から第41号（平成27年10月発行）をもとに、定例会・臨時会の審議の概要、議会構成・会派制・政務活動費状況等及び要望に対する処理状況等について報告を行った。

《質疑 要旨》

問（市民）

第41号で平成26年度決算が227億となっている。また平成27年度予算が325億とあるが、平成26年度予算も300億ぐらいでなかったか、決算が100億ほど違うのはどういうことか。

答 渡辺議員

原発事故による放射能除染計画が予定とおりに進まなかったため、年度の途中で予算を減らし、27年度で改めて計上したためである。

問（市民）

除染経費は全体でどのくらいなのか。

答 橋本議員

約 200 億くらいと思う。

問（市民）

第 41 号の政務活動費の広報費、要請・陳情活動費の内容について知らせて欲しい。

答 川名議員

広報費は会報を新聞折り込みで配布した経費である。要請・陳情活動費は根本匠国会議員あてに陳情に行った際のバス代である。

問（市民）

会派だよりは視察、研修の報告が主で、経費をかけているわりには提言等が記載されてなく物足りなさを感じる。

答 川名議員

見分を広めてきたことについてはそれぞれの議員が一般質問等で提言をしてきている。

問（市民）

広報費を使っていない会派、議員はどうなのか。

答 伊藤議員

記載のとおり政務活動費を貰っている人、貰っていない人がいる。いろんなセミナーとか研修に行って市に対し、提言等ができるよう広報費の活用についても検討して行かなければと思っている。

問（市民）

私は政務活動費を広報費に使うのには疑問があった。今後議員間で意見交換をしてもらいたい。

答 伊藤議員

検討していきたい。

問（市民）

無会派の議員が多い中で、会派の調査・研究と、公式な常任委員会活動とを議会はどうかとらえているのか。

答 渡辺議員

会派で課題をあげて調査・研究し、政策提言等につなげていくことが目標であるが、発足時に代表質問等の話も出たがまとまらなかった。今後検討が必要である。

問（市民）

以前、会派で陳情したとことはおかしいのではないかと言った経過があった。今回もあるが。

答 渡辺議員

今回は、急に議会で正副議長と所管常任委員会で陳情に行くことになったが、旅費の予算がなかったので政務活動費を充てたものである。

問（市民）

常任委員会の研修において、委員長の報告ひとまとめになっている。以前のように議員個人ごとに研修報告すれば良い意見等も出てくる。個人ごとに報告を出すよう要望する。

答 伊藤議員

検討していきたい。

問（市民）

一任的な報告書になってしまっている事例がある。個々の感想や意見が分からない。個人ごとに出されていれば開示請求で知ることができるので要望しておく。

問（市民）

本宮駅東西自由通路整備は地域のあり方、活性化にもつながることである。過去に磐越線の通過にあたって、将来予測を見誤った経緯もある。複合施設（図書館など）、東西自由通路、駅舎の整備は百年先を見据えた大きな視点で進めるべきである。これからいろいろ議論になるだろうが要望しておく。

答 伊藤議員

整備計画が決定したわけではない。特別委員会も設置されており今後議会としても議論を重ねて行くことになる。

問（市民）

百年先を見据えた議論をお願いします。

答 伊藤議員

わかりました。

問（市民）

本宮駅は東口整備で多額の予算を使っている。次は五百川駅の整備が先だと思う。この地区の議員、住民の方の考えを聞きたい。

答 伊藤議員

市には駅が2つある。そういう思いもあるが今後議論を重ねて行ければと思う。

問（市民）

福島大学に農学部が創設されると聞いているが、その誘致について市、議会

では関心をもっているのか。農業試験場も近くにあり誘致は、雇用の拡大、活性化とあわせ、五百川駅の整備もつながるのではないか。

答 伊藤議員

議会としても検討していかなければと考える。

問（市民）

しっかりと方向を決めて取り組んで行って欲しい。森林を活用するパレット製造やエネルギー関連の企業を誘致する考えはもっているのか。

答 橋本議員

県内いくつかの自治体で木質バイオマスの発電を検討した経過があるが、放射能の問題で反対されとん挫した経緯がある。市から誘致に動くには問題があると思う。

問（市民）

周りがダメだからこそ、うちは受け入れましょうという発想にならないといけないのではないか。

答 橋本議員

放射能の問題が解決すれば真っ先に検討していくべきことであり、森林整備のためにも今後情報収集に努めて行きたい。

【意見交換】

◇伊藤議員

テーマである(1)の「定住人口増加への取り組みについて」意見等を求める。

問（市民）

(2)の活性化について関連することでもよいか。

答 伊藤議員

分けなくとも結構で(1)、(2)区別しないで進めることにする。

問（市民）

本宮駅、五百川駅の立地は、それぞれ違った周辺地域の中にある。整備についても異にした考えのもとに整備を進めて行くべきと考える。特に五百川駅については、駅を核とした周辺整備の計画を立てないで、バラバラでは将来困ったことになるのではないか。議員には市との議論を深めてもらいたい。

答 伊藤議員

本宮駅東口整備の次は五百川駅をと言う考えもあったが、街の活性化が重要ということで、自由通路、西口整備が検討されている。今後五百川駅周辺整備の必要性について議会でも議論をしていきたい。

問（市民）

ハードルは高いと思うが、周辺地域を網羅して整備をどう図っていくかを立てたうえで、駅の整備はどうすべきかを考えて進めて行くことが大切ではないのか。

答 伊藤議員

インター周辺の農地をどのように考えているのかと市に質した経緯があるが、今のところ中心市街地の方が主に進められている。議会でもまだ五百川駅周辺及びインター周辺の開発等について議論に至っていない。定住人口の増加の面からも今後議論して行かなければと考える。

答 渡辺議員

現在の市の計画の中には、アサヒビール北側、インター東側のエリアについて何もない。重要な地域なのでじっくりと検討していくとのことである。待っているのは一向に進展しないので、市に提言できるよう議会としても調査、検討をして行きたいと考えている。

問（市民）

25年から30年くらい前に指定された、奥の細道第二自然道が岩根を起点としてあるが、標識がくじけて無くなっている所もあるので、確認して再築して、トレッキングやハイキングのコースとして健康づくり、体力づくりに活用できるよう検討して欲しい。また沿線の大池の堰堤が修復されているが、この池の周辺を整備し健康づくり等に活用するよう議会としても働きかけて欲しい。

答 伊藤議員

標識の件は担当課の方に伝えたい。沿線の名所等については、市内巡りのコースに入れるように要望して行きたい。

問（市民）

少子化の影響で、本宮市の人口も国勢調査等によると、年間百人くらい減少している。一番問題なのは20代から40代の女性の方々の懇談会等の参加が少ないことである。人口増加に対する取り組みには20代から40代の女性の方々や新たに選挙権を有することになる若者の考えが大きく関わってくると思われるし、施策に反映されなければならない。そのための環境づくりとして対象者やテーマを絞って開催し意見等を聞いて欲しい。また、人口が減少していく中、次世代に負債を送っていく事業等については慎重に取り組んで欲しい。

答 伊藤議員

要望ということで伺っておく。

問（市民）

本宮はいい所だから住みたいと言う話を良く聞くが、なぜ人口が増えないのか。議員と市民との感覚のずれがあってはどうしようもない。市民サイドに立って対策を進めて欲しい。

答 渡辺議員

個人的には、他自治体と比べてどうだということではなく、いろんな世代の人の意見を聞くなどして、本宮ならではの良さをつくりあげ、住んでみたいと思われるような取り組みが必要であると考えている。

問（市民）

本宮に住んで7年目になる。本宮に住むことにした理由は北海道・東北地方の住み良さランキングで1位であって、工業等団地の借金の返済目途がついていると知ったからである。元々住んでいる人には本宮の良さが実感としてわからないかもしれないが素晴らしいことである。さらに住み良さが感じられるよう、市長にも話しているが高校生の通学のためのバス運行が実現されるよう要望するので記録に残して欲しい。

問（市民）

二元代表制のもと議会はチェック機関だけに終わらないで、政務活動費を活用するなどし、政策づくり集団になって欲しい。

問（市民）

意見交換を行う前提として、テーマに対して議会の考えを示さないと議論にならないのではないかと。世代感の違いで核家族化が進んでいるがその辺を追及していけば定住人口の増加につながるものが見えてくるのではないかと。また、宅地開発することで固定資産税等の税収が増える、その中で地域住民の意見を聞きながら住環境の整備等を進めていけばいい結果が得られると思う。

答 伊藤議員

農地を宅地開発するには課題が多いが、市と共に議会としても議論をして行きたい。

問（市民）

本宮ゴルフの土地は今どうなっているのか。

答 伊藤議員

特に進展はないのでは。

問（市民）

先日現地で外国人らが居て、ソーラー発電のための視察に来ていると言っていた。議会として何か聞いていないのか。

答 伊藤議員

何も聞いていない。

問（市民）

都市計画道路見直し対象路線、新介恵向線の幅員変更 25Mから 16Mへは、駅開発をあげていることと矛盾しているのでは。

答 伊藤議員

確認する。

問（市民）

会の持ち方について、型にはまらずザックバランに意見交換できるようでないという意味がないのでは。

答 伊藤議員

議員個人としての意見はなるべく遠慮させていただいている。

問（市民）

教育の一環として、小・中学生を対象に子ども議会を開催して欲しい。また、18、19歳の人が選挙権を有することになるが、政治に関心を持ってもらうためと投票率を上げるため、投票にきたらスタンプを押して何回かで特典が得られるようにするとかしてはと思うが。また、今ある 295 億の借金の返済について説明出来ればお願いしたい。

答 渡辺議員

特に関心のある工業等団地の借入金の償還については、銀行からの分は平成 32 年度で終わり、その後県からの借入金 30 億と県土地開発公社からの 6 億いくらを返済していき、平成 44 年度までで完済する計画である。他の事業等の借入金についても、自主的財政健全化計画に従って着実に進められており、今後についてももしっかり見極めていきたい。

問（市民）

高齢化社会が進行する中であって、高齢者が安心して暮らせように、施設の誘致または整備を考えてもらえないか。また、パークゴルフとかグランドゴルフなど、全国から人を呼び込めるようなスポーツ施設をつくってもらえれ

ば地域の活性化にもつながると思う。

答 伊藤議員

今般パークゴルフ場1コースが高木地区に補助を受けて整備されるので活用いただければと思う。

答 伊藤議員

皆さんからいただいた貴重な意見、要望については、議会としても精一杯応えられるよう努めて行きたい。また、市当局関わる件については市の方へしっかりと申し送りをして行きたい。出席に対しお礼を申し述べ閉会とした。

【午後8時32分閉会】